

『初めてお家の方と離れて過ごすお友だち』

『こぎく・こでまり組で過ごしていたお友だち』

『ちいさく・てくてく・つぼみ組で過ごしてたお友だち』

2歳の時はそれぞれの場所ですごしてきたみんなですが

4月から2か月たち、年少組での園生活にも慣れてきた様子が見られます。

今回は年少組の園生活を紹介したいと思います。

登園すると荷物の準備をします。

「きょうはここはる？」と先生に確認したり、

「ここはるんやで」とお友だちに教えてあげたりしながら、

毎日シールを貼っています。

「みて、〇〇のしーるばっかりやねんで」と毎日こだわって貼っている子もいます。



いますぐ遊びたい気持ちをぐっと抑えて

リュックをかごの中に片づけます。

「絵本袋はどこに片付けるの？」など分からないことは自分で先生に確認する姿も見られます。

給食の用意や片付け頑張ってます。

「おさらはこっちにおいて、ごはんのおちゃわんはこっちにおくんやで」と自信満々に教えてくれます。



お部屋ではお友だちとおままごとをしたり、粘土でパンを作ってみたり
ひとりひとり思い思いに遊んでいます。



ヒロ先生の音楽遊び、阿部先生の体育あそびなど年少組からの活動も始まりました。



園庭でははけやローラーで色んな所をぬりぬり。

ダンゴムシはどこにいるのかな？と落ち葉の下や、プランターの後ろをのぞいてみたり。

年長組、年中組のお兄さんお姉さんが遊んでいるのを見よう見まねで、泥だんごを作って遊んでいます。

これからはいよいよ水あそびの時期となります！！園庭でのたくさんの経験をして欲しいと思っています。



進級しすっかり顔つきがお兄さん、お姉さんになった年中組のみんな。
園庭ではダンゴムシ探しに夢中です。

生き物

草を掻き分け、地面にへばりつきながらダンゴムシを探しています。
年少の時にダンゴムシ探しを経験し、ダンゴムシは湿ったところが好きで、
落ち葉の下とかにいるということがわかっているので、プランターを動かして探しています。
今はたくさん見つけて先生に見せに来てくれたり、お皿やコップに砂と葉っぱを入れて
過ごしやすいようにしてあげています。お片付けの時間になると「お家にかえしてあげる」と
いって元の場所にもどしてあげています。



もう一匹年中組には人気者がいます。
橙組のかたつむりの「かたやん」です。
実はこのかたやんは2代目なんです。
年少の頃に飼っていた『かたやん』は春休み前に園庭に返してあげました。
年少と時のことを覚えていたので今や年中組みんなの気になる存在です。
橙組はもちろん、赤組や黄緑組のみんなも様子を見に行く姿があります。エサをあげたり、
箱やストローなどを使って遊び場を作ってあげたりと、少しずつお世話することに
興味を持ち始めた様子が見られます。



どろだんご

5月の月の絵本にどろだんごの事が載っていたので、それをきっかけによりみんなのどろだんご熱が
帯てきました。普通の砂から泥を作るのではなく、サラ粉に水を混ぜて泥だんごを作るようになったり、
サラ粉を作る際に、ふるいに入れた砂をトングでかき混ぜながらすると早くサラ粉が
できることに気づいたりと色々としながら作っています。
「また明日もするからおいとく」と少しずつ継続して遊ぶ姿も見られます。



園庭には枝豆のプランターもあります。
水はあげすぎてもダメになるということを知り、水やり当番を決めました。
お当番さんは園庭に出るとジョウロで水をあげてくれています。
枝豆はどんどん背が高くなって倒れてきてしまったクラスもあります。
子どもたちとどうしたらいいかな？と話をし、添木をしてあげることにしました。
これから実をつけたりどんどん変化して行く枝豆。
園庭に出るたびに気にかける姿があります。



年長組が始まって2ヶ月がたちました。
新しい先生やクラスにも慣れてきて、遊びがどんどん活発になってきています。
今回は今年長組でブームの『どろだんご』と『生き物』について紹介します。

どろだんご

園庭では年中から引き続き泥だんごは大流行り。
お部屋から大きな缶を持って園庭に出てきます。
その中にはつくり貯めた『サラ粉』がたぐまりと入っています。
1つの泥だんごを何日もかけて、大事に大事に育てています。



昨年度年中の菊の花通信でお伝えした時は、まだ根気よく何日も何日もかけて作るという感じではなく、
作るのが楽しいという感じでしたが、あれから5ヶ月が経ち、同じ泥だんご作りでも取り組み具合が全然違います。
園庭に出るとずっと泥だんごにサラ粉をかけている姿があります。
「先生みて。ここめっちゃ硬いねん」「つるつるやろ？」とその一瞬一瞬の泥だんごの変化を教えてください。



お片付けの時間になると先にみんなで決めた保管場所に泥だんごを置きに行ってからお片付けをする子、
サラ粉の缶に泥だんごを片付ける子と様々ですが
一人一人が自分の作った泥だんごを大事にしていることがよくわかります。

生き物

泥だんごに並んでブームなのが「生き物」です

黄組は「アカハライモリ」
白組は「カマキリの赤ちゃん」
青組は「ダンゴムシ」を飼っています。



アカハライモリは生きているものしか食べないから、
餌を割り箸で動かして
生きているようにみせるなど工夫しています。
「今日はごはんいっぱい食べたよ」
「今日はあんまり食べへんかった。げんきないのかな？」と
アカハライモリの食欲に一喜一憂しています。



カマキリの赤ちゃんはアブラムシを食べるので、
園庭でアブラムシを探し回っています。
見つけたアブラムシをあげて、成長するのを楽しみにしています。

ダンゴムシはダンボールでトンネルを作ったり、
ティッシュに水を含ませ水飲み場を用意したり、
居心地の良い環境づくりをしています。



園庭で生き物を見つけると愛着も沸くので、「クラスで飼いたい」となります。
でも本当にちゃんとお世話してあげられるか、生き物にとって住みやすい環境を用意してあげられるかを
考える姿が見られるようになってきました。考えた結果、ちゃんとお世話できなかつたら可哀想だから
逃がしてあげる。という決断を自分たちでできるのもさすが年長組だと思います。